

第23回 レギュラトリーサイエンス学会 理事会 議事録

令和5年7月10日午後3時00分、WEBシステムを用いて、理事会を開催した。

出席者

理事：13名

石井明子、泉祐子、梅津光生、岡田潔、柏谷裕司、川北晃司、久芳明、近藤昌夫、富田泰輔、豊島聰、成川衛、橋田充、渡邊伸一

監事：1名

山本圭一

代表理事橋田充が議長として、開会を宣言し、WEBシステムによって出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みになっていることを出席の理事、監事全員で確認したうえで、次のとおり定足数に達する理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数 20名

出席理事 13名

一 決議事項

第1号議案 令和4事業年度事業報告に関する件

本議案につき、事務局から、令和4年9月に社員総会を開催したこと、理事会は同年7月、9月に開催したほか、本年1月と6月に日本薬系学会連合（仮称）への対応について開催したこと、同年9月に第12回学術大会を開催したこと、学会シンポジウムについては合計4回開催したが、参加者は例年に比べて少なかったこと、学会誌については第12巻第3号、第13巻第1号及び第2号を発行したこと、6月理事会での決定を受けて、日本学術会議協力学術研究団体の指定に向けて申請を行ったこと、事業計画に基づき短期借入金（500万円）の半額を返済したこと等が報告された。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第2号議案 令和5事業年度事業計画に関する件

令和5事業年度事業計画に関する議案につき、事務局から、学術大会やシンポジウム等の開催、機関誌の発行等の事業を例年と同様に実施したいこと、運営に支障のない範囲で短期借入金の返済を考えていること等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第3号議案 令和5事業年度予算に関する件

令和5事業年度予算に関する議案について、事務局から、学会の財務につき、令和3事業年度末（令和4年6月末）における正味財産は520万円であること、令和4事業年度単年度ではシンポジウム参加者が少なかったこと等から約200万円の赤字、累積では320万円の繰越と見込んでいることを説明したうえ、令和5年度については、会費収入は前年度と同額で、学術大会・講演会等の収入及び支出については過去3か年の平

均で、機関誌出版費については過去3か年の平均に物価高を反映し10%増で、事務局業務委託費については前年度と同額で見積もったこと等の説明があった。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

なお、決算書類等については、税理士のチェック、監事の監査を受けたものを8月の理事会に諮るが、本理事会は書面開催とすることで了解された。

第4号議案 定時社員総会の開催に関する件

本議案につき、事務局から、定時社員総会を令和5年9月9日に開催したいこと、議題は令和4年度事業報告、同年度計算書類等の承認、任期が満了する理事・監事の選任等を予定していること、出席しない社員は書面等によって議決権を行使できることとしたいこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第5号議案 理事候補の選出について

本議案につき、事務局から、定款第29条第3項の規定に基づき、昨年9月の社員総会で選任された理事のうち、再任3回目となる6名の理事の任期が本年9月の定時社員総会の終結をもって満了するため、理事会においてその候補を選出し、社員総会に諮る必要があること、候補の選出にあたっては、従来から、薬学、医学、医工学、社会科学といった専門のバランス、産学官といった所属組織のバランス等に配慮されてきたこと、昨年9月の定時社員総会で社員（評議員）としての活動への評価について意見があったこと等が説明された。

複数の理事から、医工学分野や企業団体から理事が引き続き選任されるよう配慮してほしい旨の意見があった。事務局から、これまでのやり方では、バランスに配慮したうえで、必要に応じ、退任される理事の意見を聞いて、候補者の内諾をいただいたうえで、その案を8月の理事会に提出し、ご議論、ご承認いただくことという手順でやってきたことが説明された。

代表理事から、本日の議論を踏まえ、必要に応じ、退任される理事の意見を聞いて、候補者の内諾を得たものを8月の書面理事会に提出することが提案された。理事から特段の意見はなく、全員一致によりこれを承認した。

二 報告事項

1 学会の現況の件

本年6月1日現在の学会の会員数が938名（正会員809名、若手会員60名、学生会員69名）であること等について報告がなされた。

2 第13回及び第14回学術大会の件

本年9月8、9日に開催予定の第13回学術大会について、プログラム等が紹介された。

また、第14回学術大会については、令和6年9月14、15日に一橋大学一橋講堂において開催することとし、その大会長の選任については、代表理事を中心に作業を行い、8月の書面理事会に諮ることとされた。

本報告について、①定時社員総会の開催と学術大会におけるポスター発表の示説の

時間が重複しないようにできないか、②シンポジウム3の演者の所属名が間違っているのではないかと意見があった。事務局から、①については来年度の学術大会の際に検討すること、②については、至急、確認・訂正することが説明され、了承された。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後3時47分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び監事が記名押印する。

令和5年7月18日

一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会

代表理事 橋田 充 印

監 事 山本圭一 印